

第2次 呉市阿賀地区まちづくり計画書

大空山山頂と阿賀市街・休山の眺望



令和2年3月

呉市阿賀まちづくり推進協議会



目次



1	まちづくり計画策定の経緯	P1
2	阿賀地区の概要	P2
3	阿賀地区の現状と課題	P5
4	まちづくり計画推進の概要	P6
5	今後の各種事業の計画	P14
6	まちづくり推進協議会委員	P16
7	規約	P17

1 まちづくり計画策定の経緯

阿賀地区には、自治会連合会、女性会、老人クラブ連合会、子ども会育成協議会、体育協会などの団体があり、これまでに活発な活動を行ってきました。

平成18年2月に、市民協働の推進母体として、阿賀地区の主な15の団体により「阿賀まちづくり推進協議会」（以下「まち協」という。）を立ち上げ、市の補助金制度を活用し、各種団体の活動を支援してきました。

平成20年3月に呉市が「ゆめづくり地域協働プログラム」を策定し、まちづくり推進協議会などの住民自治組織との協働による「地域協働型」のまちづくりを積極的に推進していくこととなり、平成20年度に阿賀地区のまちづくり計画を策定しました。「地域と住民の結びつきが強く、お互いが協力し合えるまち」を目指した計画を基に、阿賀の文化や特色を活かし、各種団体の活動で得られた人と人とのふれあいを大切してこれまで歩んできましたが、策定から10年が経過し、環境の変化や新たな取り組みを反映させるため、計画の見直しを行いました。

近年、国内各地で大きな災害が発生しており、平成30年7月豪雨では、阿賀地区でも1名がお亡くなりになり、172棟（り災証明に係る現地調査完了件数、平成31年2月28日現在）の家屋被害もありました。

また、今後30年以内に「南海トラフ地震」が70～80%の確率で発生するとの報道もあり、阿賀地区においても災害に対する備えが必要になっています。

今回の見直しでは、特にこのことにも留意して安心・安全で、住んでいて良かったと思われるようなまちづくりに取り組んでいきます。

2 阿賀地区の概要

(1) 地理

阿賀地区は呉市のほぼ中心に位置し、南北に細長い形をしています。北は灰ヶ峰、東は黒瀬川、西は休山に囲まれ、南は瀬戸内海に面しており、豊かな自然に恵まれた地域です。

一方で、山側には急傾斜地が多く、海側は埋め立て地が広がっているため、災害には脆弱な地形となっています。



(2) 人口

阿賀地区の人口は、平成31年3月末現在で、15,259人（男性7,355人、女性7,904人）、世帯数は7,676世帯です。これは中央地区を除くと広、昭和地区に次ぐ規模です。

平成21年度の計画策定時の人口は16,624人で、1,365人減少しています。65歳以上の高齢化率は36.1%で、平成21年度の29.5%から6.6ポイント増加しています。

地区内には、小中高等学校、高専、大学等の教育施設が集中しており、他地区に比べ比較的若者を多く見かけますが、地区外からの通学者が多く地域に根ざしていないのが現状です。

(3) 交通

地区の中央をJR呉線と国道185号が東西に横断しており、北は呉越峠を通る市道が、南は主要地方道呉環状線がそれぞれ接続しています。また、平成14年に開通した休山新道（トンネル）により呉市中心部への利便性が格段に向上しました。また、平成27年からⅡ期線トンネル掘削工事に着手し、平成31年3月に4車線化が実現しました。



休山新道

平成27年3月に全線開通した東広島・呉自動車道は、山陽自動車道（東広島市高屋町）から国道185号（阿賀IC）をつなぐ自動車専用道路で、山陽自動車道への連絡時間を30分と大幅に短縮でき、利便性が向上しました。また、交



東広島・呉自動車道阿賀IC

通量が多く阿賀IC出口（先小倉交差点）では深刻な渋滞が発生しているため、令和元年から阿賀ICの立体交差化が進められています。

一方で「虹村大橋」が完成し、国道185号の交通を補完するとともに、広地区や東部地域へのアクセスが向上しました。

また、主要地方道呉環状線は、冠崎付近で交互通行になっている部分の道路の拡幅工事が着手され、完成すれば朝夕の渋滞が緩和されることが期待されます。

(4) 教育施設

阿賀地区には、小学校から大学、専門校などの各種学校が集中しており、特に高等教育機関として、「呉工業高等専門学校」、「広島文化学園大学」が存在しています。

これらの学校群と地域が一体となって阿賀学園地域教育連携協議会「アガデミア」を結成し、それぞれのアイデアを持ち寄ってさまざまな地域活動を行っており、他地域でも類を見ない取組が進められています。



アガデミア文化発表会

(5) 歴史・文化

「阿賀」の語源は、かつて「香津（かがつ）」と呼んでいたのを、「つ」を抜いて「加賀」と呼び、更に「阿賀」に変化したとする説があります。

もともと平地の少ない地域でしたが、江戸時代以降埋め立てが進み、平地が開拓されました。

古くから漁業が営まれていましたが、海上交通の発展に伴い、海運業が盛んとなり、海に関係する神社や遺跡、文化が数多く現存しています。

明治以降は、呉越峠の掘削や呉線、市内電車の開通などで陸上交通が整備され、呉市中心部と広地区をつなぐ交通の要衝として発展しました。



神田神社社殿

(6) 産業

農業や漁業といった一次産業は規模が小さく、また後継者の問題などから縮小傾向にあります。工業などの二次産業は各地域に分散しており、中規模から小規模なものが多いと思われます。

ただし、阿賀マリノポリス地区においては、埋立地の分譲により企業の進出が始まっています。

飲食店などの三次産業は全体的に小規模で、国道185号沿線に集中しており、集積された商店街は形成されていません。



阿賀マリノポリス

3 阿賀地区の現状と課題

(1) 現状

平成14年3月に休山新道が開通し、交通状況が大きく変わりました。それまでは、呉越峠を經由し市中心部へ繋がっていましたが、休山新道により直接結ばれ、利便性が高まりました。それに伴い、車両の通過量が増加しました。

また、虹村大橋、阿賀マリノ大橋、東広島・呉自動車道が相次いで開通し、道路の結節点、通過点となってきています。

近年マンションの建設が進み、一部では都市型のまちへと変わりつつあります。大規模なマンションでは、独自の連絡区が作られ、自治会活動に参加しない傾向が見られます。

そのようなことに加え少子高齢化も相まって、子ども会や老人クラブ、自治会などの地域諸団体への加入率が低下しています。



(2) 課題

中央地域の都市化の進展や周辺地域の過疎化により、地域への関心や愛着心、郷土愛といった意識がうすれ、地域活動への参加意欲も減退していく傾向にあります。地域の団体では、リーダーや活動している人の高齢化や特定の人とその役割を担っている状況もあり、世代交代がスムーズに行われていません。

こうしたことから、今後のまちづくりの原動力となるコミュニティ活動を活性化させ、住民の参加を促進させるための意識啓発や情報の提供を行うとともに、支え合う連帯感のある地域社会を形成する環境づくりを行っていく必要があります。

4 まちづくり計画推進の概要

- (1) 協議会名：阿賀まちづくり推進協議会
- (2) 策定年月日：平成21年3月12日
- (3) 改訂年度：令和元年度（計画策定後10年）

(4) まちづくりの考え方

この計画は、阿賀地域の問題や課題の解決方策などを盛り込む住民自治の計画です。阿賀地域のビジョンを明確にし、活動目標を立て、それに添った事業を展開することで、地域力の再生を図ります。

関係各団体の事業についてもまち協が協力することにより、関係各団体の活性化を図っていきます。

(5) キャッチフレーズ

「大空 羽ばたく 阿賀のまち！」

地域の人たちがともに汗を流し、共感し、感動することで、心がかようまちをつくることを目指すものです。かつて、阿賀のまちは「人情深いまち」と言われていましたが、徐々にそういう風情が薄れつつあるようです。住民どうしの絆を強め、地域の力を結束して、地域で支えるまちづくりを目指します。

(令和元年度策定)

(6) 基本方針及び具体的な施策について

平成21年にまちづくり計画が策定され、各団体により多くのイベントや活動が実施されてきました。

第2次まちづくり計画では、現まちづくり計画の骨格は維持していくものとします。ただし、これまで一定の成果が得られているものについては、引き継ぎ、さらに発展させるものとし、課題のあるものについては、事業の見直しや内容変更などの検討を行います。

I 出会い、ふれあいの創出

人々がともに集い、協力し合うことでお互いを知り、一体感を味わうことができる行事の開催や各団体の活動を支援します。

① 今昔子どもふれあい大会

平成23年度から「子ども創作大会」と「ふれあい祭り」を統合して開催されているまち協主催の行事です。町内の中学、高校、大学及び地元企業の協力により、屋台、イベント、ステージなどが実施され、毎年たくさんの町民で賑わっています。



今昔子どもふれあい大会

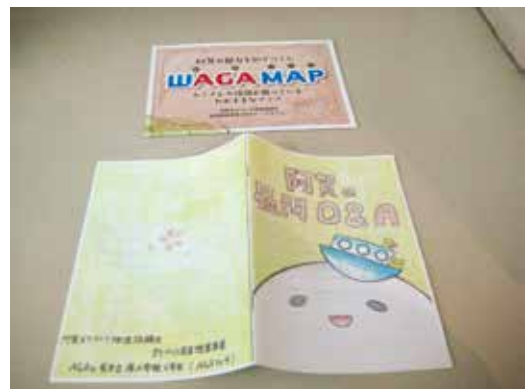
今後も創意工夫を凝らしながら継続実施していきます。

② まちづくり若者提案事業

1日限りの阿賀学校、情島自然学校の開催やWAGAマップ、阿賀の疑問Q&Aなどを発行し、阿賀まちの活性化の一端を担ってきました。

現在は、呉高専の学生や原小学校の生徒たちが主体となって、阿賀町の歴史やお宝などを再発掘しながら、地域との交流を図っています。

今後は他の学校も加え、学校間の交流の中で実りある事業を進めていくことを考えています。



WAGA マップ、阿賀の疑問Q & A

③ 学校との連携

前述の事業の他、アガデミアをはじめとして、地区内の小・中・高校と連携を図ってきました。

今後も、各種学校が多く立地する地域の利点を利用し、地域のまちづくりと担い手を育成していきます。

④ 子どもまちづくり事業

子ども達からまちづくりに活かすためのアイデアを募集し、地域の大人と一緒に実現させる事業です。これまで実施した事業は次のとおりです。

事業名	内容
防災情報をカレンダーで紹介しよう!	防災カレンダーの作成・配布
誰もが幸せに暮らせるまちづくり ～子どもから高齢者まで病気や障害のあるなしに関係なく個性ととらえて～	野菜を植え、育て食べる、子ども虐待防止のイベント、炊き出しなど
「アマリンちゃん＆アガエルちゃん」をおいしく食べよう	「アマリンちゃん＆アガエルちゃん」のクッキーづくり
キャラクターのメロディ時計	「アマリンちゃん＆アガエルちゃん」の時計の作成
「虹の花壇」で学校の周りを花でいっぱいにする事業	アガデミア地区の学校通学路をプランターに植えた花でかざる
原のまちの防災に向けて	防災手帳の作成・配布
平!清!盛! KURE PROJECT final ～平成から新たな時代へ～	呉みなと祭りでソーラン踊りの創作・披露

今後も、積極的に子どもたちのアイデアを発掘していきます。

⑤ 阿賀地区「成人の集い」

平成21年から地域による分散開催が始まり、阿賀地区では、毎年、成人の日に「成人の集い」を実施。同窓会やステージなどを行い地域全体で新成人をお祝いしています。

今後も主要事業として実施していきませんが、令和4年に成年年齢が18歳に引き下げられるため、開催方法については検討していく必要があります。



成人の集い

⑥ キャラクター事業（あマリンちゃん&アガエルちゃん）



平成27年9月に、阿賀まちづくりセンターにおいて「あマリンちゃん&アガエルちゃん」のキャラクターが誕生し、イベントだけでなく、町内の学校や保育園・幼稚園の行事にも参加し、阿賀のシンボルキャラクターとして親しまれてきました。また、平成29年8月にはイメージソングが完成し、混声合唱や小学校で歌われたり、大学等の吹奏楽で演奏されたりしています。



今後は、まち協において、さまざまな事業を展開していきます。

Ⅱ 心ゆたかに

音楽や演劇、絵画に親しむことで、感動を味わい、心ゆたかな時間を過ごすためのイベント等の開催を支援します。

① アガデミア文化発表会

平成17年からアガデミアの各学校が一同に会し、歌や踊り、演奏等を披露しています。世代を問わず、たくさんの人たちに来ていただいています。



アガデミア文化発表会

今後もアガデミアと連携しながら事業の発展に努めていきます。

② 市民ギャラリーの開設

まちづくりセンター及び支所内に常設の市民ギャラリーを開設し、まちづくり推進協議会をはじめ各団体が開催する行事の写真や作成した作品等を展示しています。

今後も展示物を更新しながら、地域住民に親しまれるギャラリーにしていきます。



市民ギャラリー

Ⅲ ふるさと再発見

阿賀の歴史やまちづくりの移り変わりを知り、郷土愛をはぐくみ、これからも住み続けたいという気持ちを育成します。

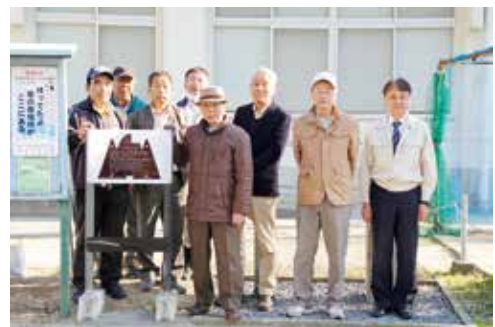
① 歴史文化の研究

町名の由来やまちの自慢、歴史や文化が掘られた石柱（阿賀まちしるべ）を各自治会単位に設置しました。

また、郷土史に興味のある人たちで平成21年に歴史文化研究会を組織し、阿賀にゆかりのある歴史資料等を収集して、展示する活動をしてきました。

また、隠れた名所・旧跡を紹介した銘板を作成・設置し、「あがまち銘板散策マップ」を作成したほか、阿賀地区に残る昔話や言い伝えなども調査・研究し、紙芝居で後世に伝える取り組みも行ってきました。

今後は、平成時代から手始めに資料を収集し、詳しい阿賀町歴史年表の作成に取り組むほか、他のイベント等を活用して、これまで蓄積してきた成果を地域住民に発信していきます。



あがまち銘板

② 情島再発見事業、大空山桜復活事業

情島再発見事業は、島民と学生が島の良さ、自然の豊かさを学び、清掃活動などをおとして交流を図ってきました。現在も情島小学校の草刈りや清掃活動を行っています。



情島再発見事業

また、大空山桜復活事業は、桜の樹齢が40年を越え、枯れたり、倒木などにより本数が減ってきたため、ひとりひとりネームプレートを付けた桜の苗木の植樹や、開花時期に草刈りを行うなど、以前のように阿賀町民が桜を楽しんでもらう環境整備をしてきました。



大空山桜復活事業

今後も継続し活動していきます。

Ⅳ 防災・環境への取り組み

地域の防災組織の充実を図り、安心安全なまちづくりを目指します。また、環境問題に対しては、自分の身近なところでの環境美化や地球環境保全の事業を行います。

① 阿賀地区合同津波避難訓練

南海トラフ地震の発生を想定し、アガデミアの各学校や地域住民が参加し、阿賀地区で一斉に避難訓練を行っています。



阿賀地区合同津波避難訓練

今後も課題を抽出しながら、より効果的な訓練を目指し実施していきます。

② 災害に対する学習会の開催や備蓄等の支援（新規）

平成30年7月豪雨では、阿賀地区でも多くの被害があり、住民の防災に対する意識の変化が見受けられます。

災害に強いまちにするために、学習会の開催や各自主防災会（自治会）への食料、飲料水や防災グッズなど、備蓄物資の購入支援を検討します。

③ フラワーロード事業

アガデミア地区の歩道に、小・中・高校生などが地域住民の協力により花の通学路を作っています。

今後も継続して実施します。



フラワーロード事業

V みんなで考え、支え合う

地域の住民に情報発信を行います。また、まちづくりを支えるマンパワー強化のため、人材を育成します。

① 情報誌「阿賀まちだより」の発行

「阿賀まちだより」は、阿賀地区内の各戸への配付などにより情報提供を行っています。

平成31年の第14号まで毎年発行してきました。

今後も内容を検討しながら継続していきます。

② ホームページの管理運営（随時更新）及び阿賀まちメール情報サービスの発信

ホームページは、阿賀まちづくり推進協議会が管理運営し、必要に応じて更新しています。また登録した方へメール情報を発信しています。

今後は、情報の定期的な更新、内容の検討やこれらの作業ができる人材の育成を行い、タイムリーな情報提供ができるよう努めていきます。

また、メール会員を増やしていきます。

③ 既存事業との連携と交流

阿賀町民体育大会、健康づくり大会、敬老会や文化祭等、各団体が行っている事業を、まちづくり推進協議会が支援し、各団体間で協力・連携するものについての調整を行っています。

今後も、継続して支援・連携を図ります。

※各団体により実施されている主なイベントや活動など

ア 各団体の主なイベント

事業名	実施時期	主な主催団体
阿賀町民体育大会	4月	体育協会
阿賀町民健康づくり大会	7月	健康づくりのための運動普及推進協議会
阿賀地区卓球大会	7月	体育協会
夏季スポーツ大会	8月	子ども会育成協議会
阿賀地区スポーツ大会	9月	体育協会
阿賀地区敬老会	9月	社会福祉協議会
阿賀地区文化祭	9月	文化連盟
阿賀地区ロードレース大会	1月	体育協会
冬季スポーツ大会	2月	子ども会育成協議会
月例ウォーキング, 体力測定会	年間	健康づくりのための運動普及推進協議会

イ 各団体の主な活動

活動内容	実施時期	主な主催団体
交通安全街頭キャンペーン	4, 7, 9, 12月	交通安全推進協議会, 広交通安全協会 阿賀支部
各教育機関等とのふれあい交流	6, 2月	老人クラブ連合会・女性会
阿賀地区青少年補導員街頭巡視	8, 12, 3月	青少年補導員連絡協議会
いきいきサロン	年間	社会福祉協議会（自治会・民児協等）
人権啓発	年間	人権教育・啓発推進協議会
防犯・防災啓発	年間	安全会議
元気っ子（育児相談）	年間	社会福祉協議会（民児協）
献血	年間	女性会

5 今後のまちづくり計画の各種事業

I 出合い，ふれあいの創出

	事業名	内容	方向性
①	今昔子どもふれあい大会	毎年6月に開催。屋台，ステージ発表など	継続
②	まちづくり若者提案事業	地域の学生や生徒などの企画による地域活性化事業	継続
③	学校との連携	各種行事等で地区内の小・中・高校と連携を図る。	継続
④	子どもまちづくり事業	子どものアイデアをまちづくりに活かす。	継続
⑤	阿賀地区「成人の集い」	毎年，成人の日に開催。式典，アトラクション，はたちの同窓会	継続
⑥	キャラクター事業	各種イベントで「アマリンちゃん&アガエルちゃん」のキャラクターの活用	拡充検討

II 心ゆたかに

	事業名	内容	方向性
①	アガデミア文化発表会	毎年12月に開催。ステージ発表	継続
②	市民ギャラリーの開設	まちづくりセンター2階および支所に開設 各種団体の活動の展示など	継続

III ふるさと再発見

	事業名	内容	方向性
①	歴史文化の研究	歴史文化研究会による阿賀町史（平成以降から順次）の作成など	内容検討
②	情島再発見・大空山桜復活事業	情島や大空山の清掃活動など	継続

Ⅳ 防災・環境への取り組み

	事業名	内容	方向性
①	阿賀地区合同津波避難訓練	毎年10月に実施。アガデミアの各学校と地域住民の津波を想定した避難訓練	継続
②	災害に対する学習会の開催や備蓄等の支援	防災に関する知識向上のための学習会の開催や防災グッズ、備蓄などの購入支援	新規
③	フラワーロード事業	花の通学路を作る	継続

Ⅴ みんなで考え、支え合う

	事業名	内容	方向性
①	情報誌「阿賀まちだより」の発行	阿賀まちだよりの発行	継続
②	ホームページやメールにより情報発信	ホームページやメールにより情報の発信	継続
③	既存事業との連携と交流	各団体のイベントや事業、活動支援	継続

6 まちづくり推進協議会委員

氏名	役職	団体名
加藤 忠二	会長	阿賀地区自治会連合会
片山 仁美	副会長	阿賀女性会
川筋 武則	副会長	阿賀地区社会福祉協議会
鈴木 孝雄	会計	阿賀地区老人クラブ連合会
梶島 宏身	監査	阿賀地区健康づくりのための運動普及推進協議会
横段 登	監査	阿賀地区青少年補導員連絡協議会
野戸 義夫	委員	第13区民生委員・児童委員協議会
奥原 信也	委員	阿賀体育協会
郷路 晴彦	委員	阿賀地区交通安全推進協議会
藤賀 醇子	委員	阿賀文化連盟
花岡 昭義	委員	阿賀子ども会育成協議会
上田 尚志	委員	広交通安全協会阿賀支部
宮田 勇雄	委員	阿賀地区安全会議
南 成子	委員	阿賀婦人ボランティア協議会
梶島 卓雄	委員	保護司会第5分区
中山 吉信	ワーキング委員	阿賀体育協会
野戸 千枝	ワーキング委員	阿賀女性会



7 規約



阿賀まちづくり推進協議会規約

(目的)

第1条 本会は、地区住民の主導のもと、いつまでもいきいきと安心して暮らせる、個性豊かで活力のあるまちづくりを推進していくことを目的とする。

(名称及び事務所)

第2条 本会は、阿賀まちづくり推進協議会（以下「本協議会」という。）と称し、事務所を阿賀支所内に置く。

(事業)

第3条 本協議会は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) まちづくりに関する事業の企画・実施及び研修
- (2) 各種関係機関との連絡調整
- (3) その他、目的達成に必要な事業

(組織)

第4条 本協議会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 別表に掲げる各種団体の代表者
- (2) 学識経験者
- (3) その他会長が適当と認める者

(役員)

第5条 本協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 会計 1名
- (4) 監査 2名

(役員を選出)

第6条 本協議会の会長は、阿賀地区自治会連合会会長がこれに充たる。

- 2 副会長及び会計は、会長が第4条第1項第1号に掲げる会員の中から指名し、総会において承認を得る。
- 3 監査は、総会において会員の互選により決定する。

(職務)

第7条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- (3) 会計は、会の経理事務を処理する。
- (4) 監査は、会計事務を監査する。

(任期)

第8条 本協議会役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補充役員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議の種別)

第9条 本協議会の会議は、総会、役員会議及び推進会議とする。

(会議)

第10条 会議の招集は会長が行う。その会議の議長は、会長がこれに充たる。

2 総会は毎年1回開催する。ただし、必要があると認めるときは、随時これを開催することができる。

3 総会に付議する事項は、予算、決算、事業計画、事業報告、会則の変更・改廃、役員の選任、その他必要な事項とする。

4 総会は、会員の過半数が出席しなければ開くことができない。

5 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

6 会長は、必要があると認めるときは、総会に会員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

7 役員会議は、必要に応じて開催する。

8 推進会議は、第4条第1項第1号に掲げる会員の中から会長が指名した会員で構成し、まちづくり計画に基づく事業の企画・運営に当たることとし、必要に応じて開催する。

(経費)

第11条 本協議会の経費は、助成金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第12条 本協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(委任)

第13条 この規約に定めるもののほか、本協議会の運営に関し必要な事項は会長が別に定める。

付 則

この規約は、平成18年3月12日から施行する。

改正 平成19年8月20日

改正 平成21年3月12日

(別 表 省 略)

阿賀地区の行事・みどころ



大空山公園の桜



お漕船



宮尾彦五郎の石碑



神田神社の太鼓祭り



サルスベリの大木



万葉の碑



呉市阿賀まちづくり推進協議会

U R L : <http://26.pro.tok2.com/~agamachi/index.htm>

事務局 呉市阿賀市民センター内

〒737-0003

呉市阿賀中央6丁目2-16

TEL (0823)73-5252

FAX (0823)71-5571

E-mail : agasis@city.kure.lg.jp



